

改正教育令伺指令集
度量衡取締要項

CZ-613-030



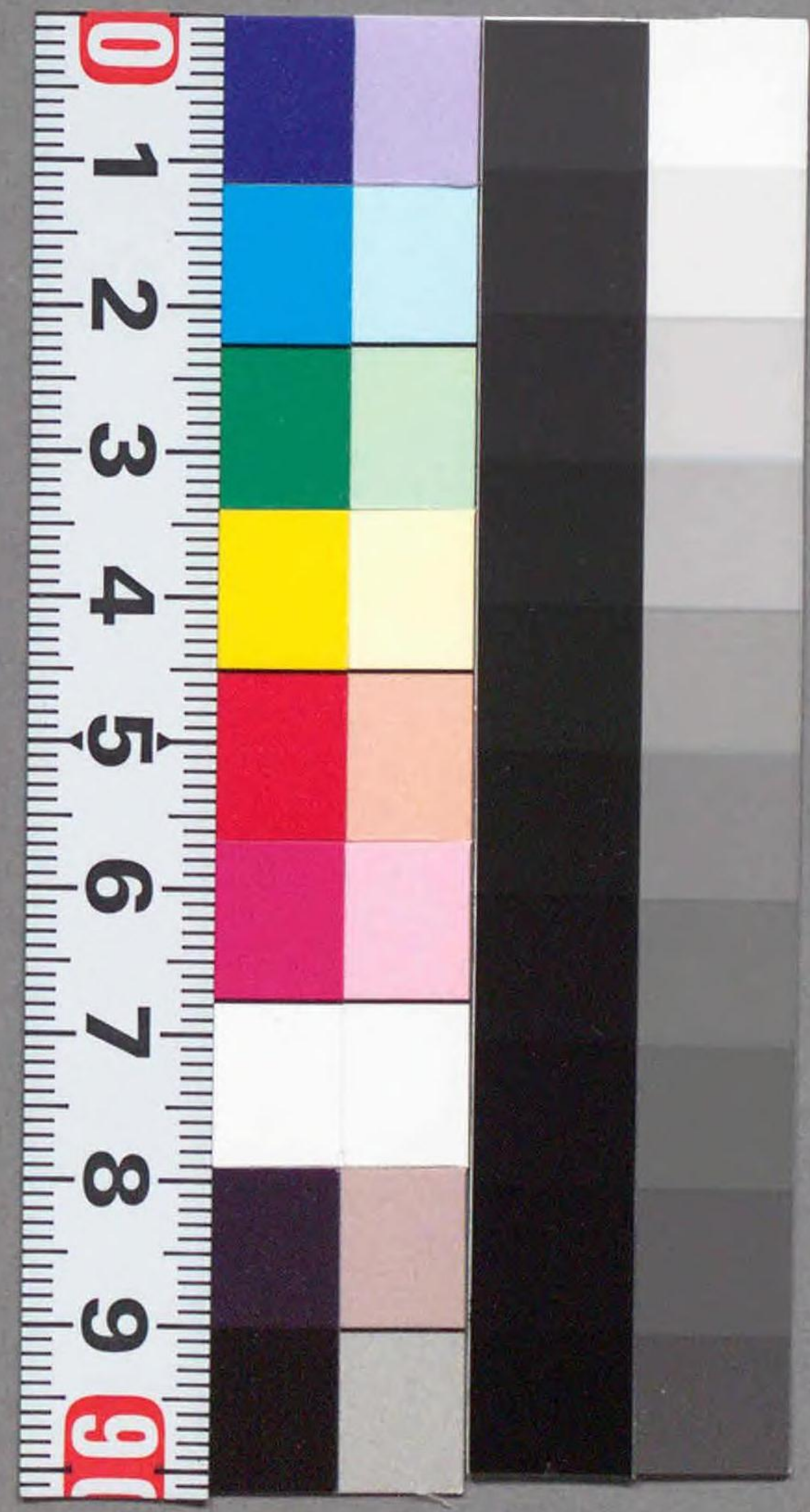
1200500167730

CZ-462-030



1201000007093

CZ
613
030



2B-95

長瀬寛二纂

改正
教育令伺指令集

明治十八年十一月

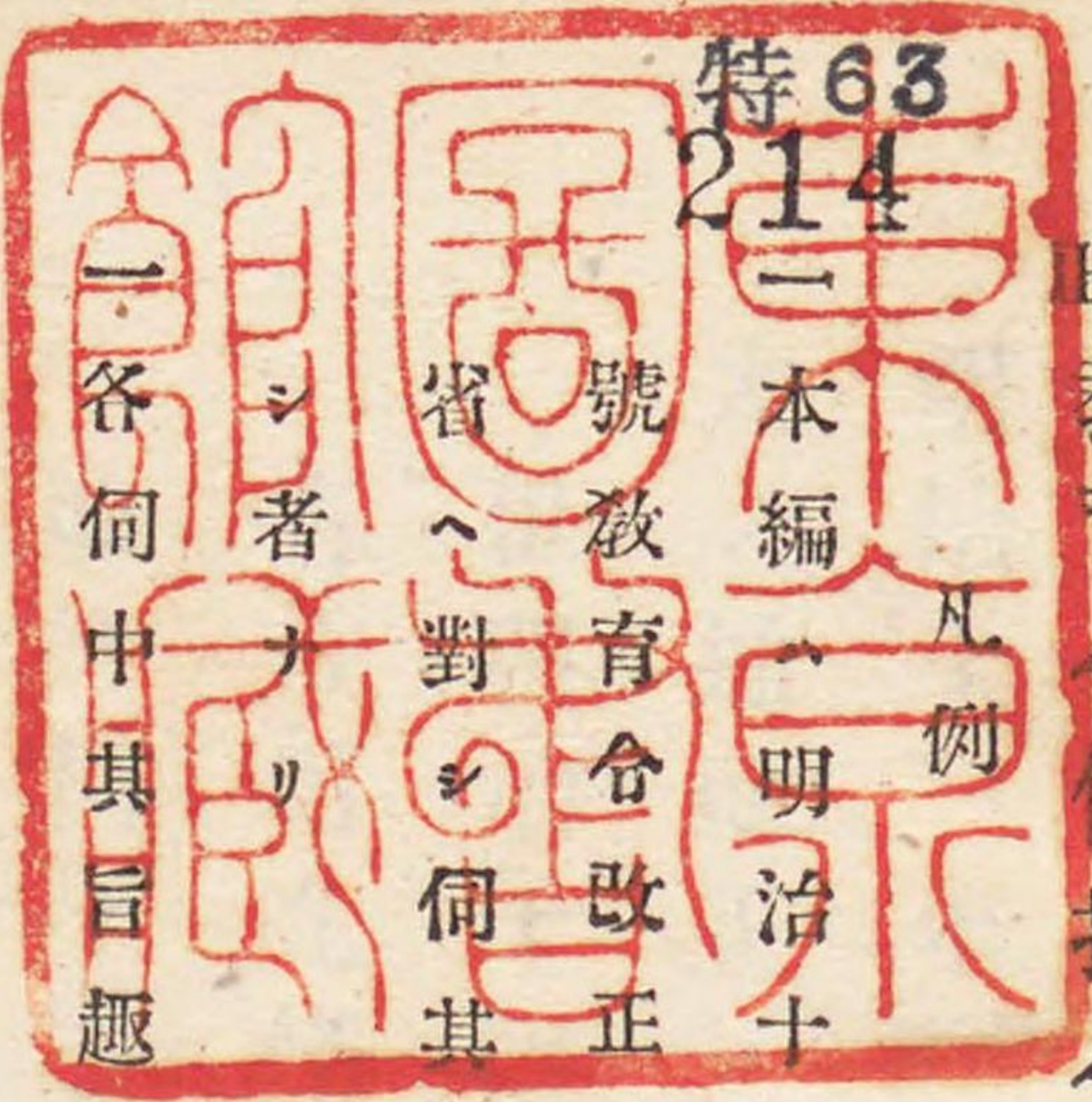
貫道書屋藏

CZ
462
023

教育令同指集

明治十八年十二月四日内務省贈付

改教育令同指集



特 63
214

一本編 明治十八年八月十二日第二十三

號教育令改正公布以來各府縣ヨリ文部

省へ對シ伺其指令等ヲ官報ヨリ抄録セ

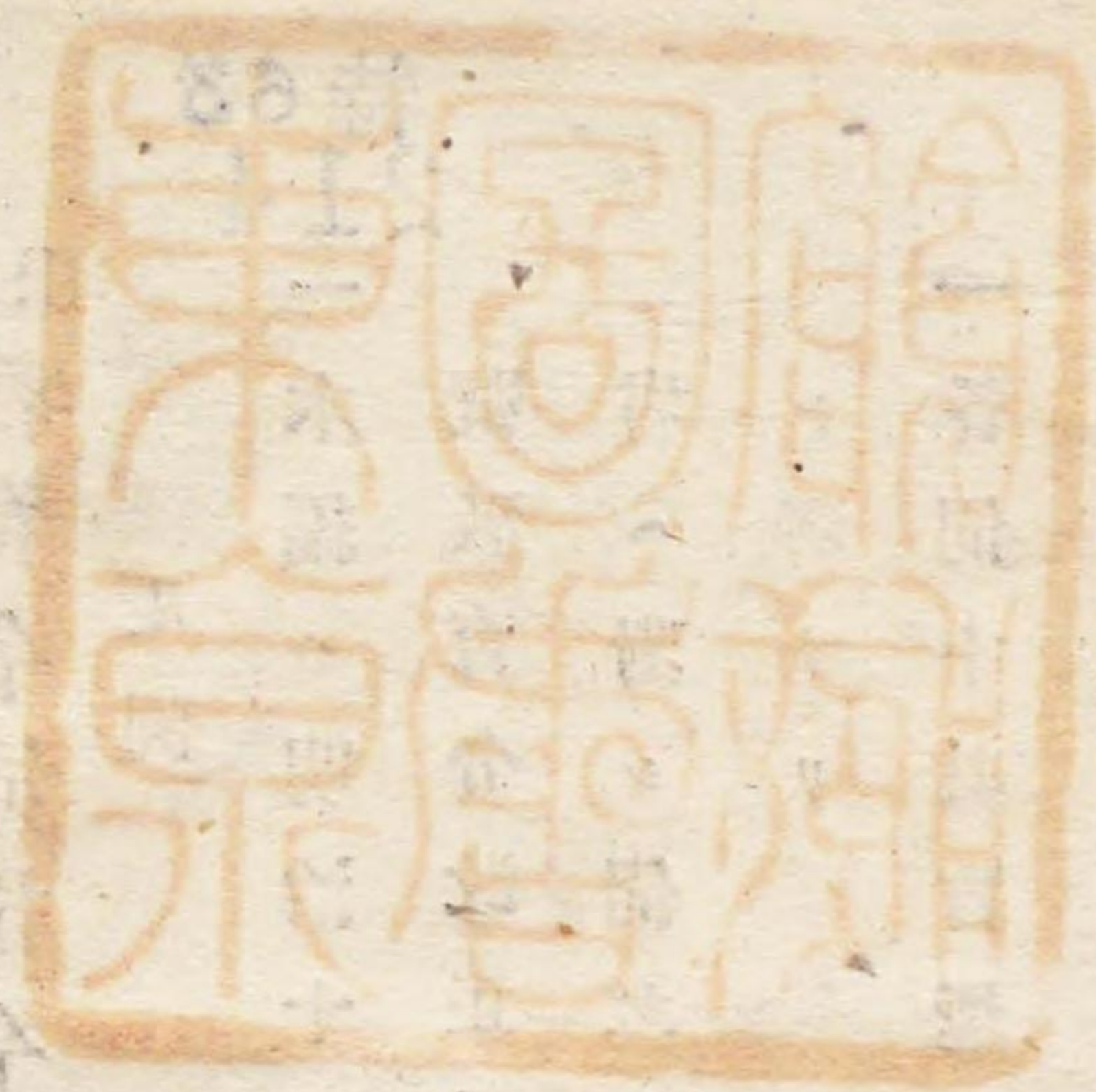
シ者ナリ

一各伺中其旨趣相齊シキモノト雖モ悉ク

載之

明治十八年十一月

纂者識



明治十八年十二月四日内務省訓令

第貳拾三號

明治十三年^{十二月}第五拾九號布告教育令

左ノ通改正ス

但明治十四年^{七月}第三拾八號布告中教

育令第九條トアルヲ教育令第八條ト

改メ同十五年^{十二月}第五拾六號布告ヲ

廢止ス

右奉 勅旨布告候事

明治十八年八月十二日

太政大臣公爵三條實美

文部卿伯爵大木喬任

教育令

第一條 全國ノ教育事務ハ文部卿之ヲ統

攝ス故ニ學校教場幼稚園書籍館等ハ公立私立ノ別ナク皆文部卿ノ監督内ニア
ルヘシ

第二條 學校ハ小學校中學校大學校師範
學校專門學校其他各種ノ學校トス

第三條 小學校及小學教場ハ兒童ニ普通
ノ教育ヲ施ス所トス

第四條 中學校ハ高等ナル普通學科ヲ授クル所トス

第五條 大學校ハ法學理學醫學文學等ノ專門諸科ヲ授クル所トス

第六條 師範學校ハ教員ヲ養成スル所トス

第七條 專門學校ハ法科理科醫科文科農業商業職工等各科ノ學業ヲ授クル所トス

第八條 各町村ハ府知事縣令ノ指示ニ從

ヒ獨立或ハ聯合シテ其學齡兒童ヲ教育スルニ足ルヘキ一箇若クハ數箇ノ小學

校又ハ小學教場ヲ設置スヘシ
但本文小學校又ハ小學教場ニ代ルヘ

キ私立小學校又ハ小學教場アリテ府知事縣令ノ認可ヲ經タルトキハ別ニ

設置セサルモ妨ケナシ
第九條 凡兒童六年ヨリ十四年ニ至ルハ

箇年ヲ以テ學齡トス

第十條 學齡兒童ヲ就學セシムルハ父母

後見人等ノ責任タルヘシ

第十一條 父母後見人等ハ其學齡兒童ノ

普通科ヲ卒業ラサル間已ムヲ得サル事故

アルニアラサレハ毎年就學セシメサル

ヘカラス

但就學督責ノ規則ハ府知事縣令之ヲ

起草シテ文部卿ノ認可ヲ經ヘシ

第十二條 小學校及小學教場ノ學期ハ三

箇年以上八箇年以下タルヘク授業日數

ハ毎年三十二週日以上タルヘシ其授業

時間ハ一日三時ヨリ少カラス六時ヨリ

多カラサルモノトス

但土地ノ情況ニ依リ午前若クハ午後

ノ半日又ハ夜間ニ授業スルコトヲ得

ヘシ其授業時間ハ二時ヨリ少カラサ

ルモノトス

第十三條 小學校若クハ小學教場ヲ設置スルノ資力ニ乏シクシテ巡回授業ノ方法ヲ設ケ普通教育ヲ兒童ニ施サントスル町村ハ府知事縣令ノ認可ヲ經ヘシ

第十四條 學齡兒童ヲ小學校若クハ小學教場ニ入レヌ又巡回授業ニ依ラスシテ別ニ普通教育ヲ施サントスルモノハ戶長ノ認可ヲ經ヘシ

但戶長ハ兒童ノ學業ヲ其町村ノ小學

校若クハ小學教場ニ於テ試驗セシムヘシ

第十五條 學校教場幼稚園書籍館等ニ公立私立ノ別アリ地方稅若クハ町村ノ公費ヲ以テ設置セルモノヲ公立トシ一人若クハ數人ノ私費ヲ以テ設置セルモノヲ私立トス

第十六條 公立學校教場幼稚園書籍館等ノ設置變更廢止其府縣立ニ係ルモノハ

文部卿ノ認可ヲ經ヘシ其町村立ニ係ル
モノハ府知事縣令ノ認可ヲ經ヘシ

第十七條 私立學校教場幼稚園書籍館等
ノ設置變更ハ府知事縣令ノ認可ヲ經ヘ
ク其廢止ハ府知事縣令ニ開申スヘシ

但公立小學校又ハ小學教場ニ代用ス
ル私立小學校又ハ小學教場ノ廢止ハ
府知事縣令ノ認可ヲ經ヘシ

第十八條 町村立私立學校教場幼稚園書

籍館等設置變更廢止ノ規則ハ府知事縣
令之ヲ起草シテ文部卿ノ認可ヲ經ヘシ

第十九條 小學校及小學教場ノ教則ハ文
部卿頒布スル所ノ綱領ニ基キ府知事縣
令土地ノ情況ヲ量リテ之ヲ編制シ文部
卿ノ認可ヲ經テ管内ニ施行スヘシ
中學校其他ノ學校ノ教則ハ文部卿其綱
領ヲ頒布スルコトアルヘシ

第二十條 公立學校教場ノ費用府縣會ノ

議定ニ係ルモノハ地方税ヨリ支辨シ町
村ノ協議ニ係ルモノハ町村費ヨリ支辨
スヘシ

第二十一條 町村費ヲ以テ設置保護スル
學校教場コ於テ補助ヲ地方税ニ要スル
トキハ府縣會ノ議定ヲ經テ之ヲ施行ス
ルコトヲ得ヘシ

第二十二條 公立學校教場ノ敷地ハ免稅
タルヘシ

第二十三條 凡學事ニ供スル寄附金等ハ
其寄附人ヨリ指定セシ目途ノ外ニ支消
スルコトヲ得ス

第二十四條 各府縣ハ小學教員ヲ養成セ
ンカ爲ニ師範學校ヲ設置スヘシ

第二十五條 教員ハ男女ノ別ナク年齢十
八年以上ニシテ品行端正相當ノ學力ア
リ文部卿若クハ府知事縣令ノ免許狀ヲ
得タルモノタルヘシ

第二十六條 文部卿ハ吏員ヲ府縣ニ發遣シ學事ノ實況ヲ巡視セシムルコトアルヘシ

第二十七條 凡學校ニ於テハ男女教室ヲ同シクスルコトヲ得ス

但小學校及小學教場ニ於テハ男女教室ヲ同クスルモ妨ケナシ

第二十八條 生徒試験ノトキハ父母或ハ後見人等來觀スルコトヲ得ヘシ

第二十九條 町村立學校教場ノ教員ハ戶長ノ申請ニ因リ府知事縣令之ヲ任免スヘシ

第三十條 町村立學校教場ノ教員ノ俸額旅費ハ府知事縣令之ヲ規定シテ文部卿ノ認可ヲ經ヘシ

第三十一條 各府縣ハ土地ノ情況ニ隨ヒ中學校ヲ設置シ又農學校商業學校職工學校其他ノ專門學校ヲ設置スヘシ

文部省伺指令

○長野縣ヨリ教育令改正布告之儀ニ付伺

電報(明治十八年八月十三日)

今般教育令改正公布ニ付テハ從前學務委員ノ事務ハ總テ戶長ニ引繼カセ可然哉御指揮ヲ乞フ

本指令(明治十八年八月十七日)

八月十三日發電報伺學務委員ノ事務引繼ノ儀ハ伺之通

○熊本縣ヨリ學事年報ノ儀ニ付伺(明治十八年八月廿六日)

本月十二日第二十三號ヲ以テ教育令改正ノ儀御布告相成舊令第四十一條ハ全ク削除相成候ニ付テハ毎年ノ學事申報ハ自今廢止セラレ之ニ附帶スル御省明治十四年第十號達モ自ラ廢滅候儀ニ有之候哉

指令(電報)(明治十八年九月十五日)

八月廿六日附伺學事年報ノ儀ハ廢止ニア

ヲス十四年第十號達モ同シ委細ハ郵便ニ付ス

○廣島縣ヨリ小學校教員申請方之儀ニ付伺(明治十八年八月廿八日)

小學校教員ノ任免ハ戶長ノ申請ニ依ルヘキ旨教育令中明文有之候處右ハ戶長ニ於テ學區内ノ事務施行候場合ニ就キテノ言ニシテ若學區域戶長數人ノ所轄ニ涉リ區町村會法第十五條ニ據リ郡區長ヲシテ議

會ヲ管理シ議決ヲ施行セシムル場合ニ於テハ自ラ取扱方ヲ異ニセサルヲ得ス何トナレハ教員ノ多少増減ハ費用ト直接ノ關係ヲ爲スモノニ付教員ノ人配ヲ主トルモノト費用ヲ出納ヲ掌トルモノトハ相離ルヘカラサル權力ニ有之候本縣下ノ如キハ現今小學區域戸長數人ノ所轄ニ涉ルモノ甚多キノミナラス尙今後經濟上ヨリシテハ大ニ學區ヲ合併シ廣キモノハ一郡内ヲ

以テ一學區トスルノ見込ニ有之此時ニ當リテハ議會ノ管理ハ勿論其議決施行之如キセ之ヲ戸長ニ委スル時ハ數多之人員ニテ事務澁濇スヘク又總代ヲ置キ之ヲ取扱ハモ候共一部分ノ戸長ニシテ數十個町村内ノ事情ニ通セサレハ事務上甚不都合ニ付勢必郡區長ヲシテ議決ノ施行迄ヲ取扱ハセサルヲ得ス此場合ニ於テハ教員申請モ亦郡區長ヲシテ取扱ハセ候儀ト存候得

共爲念相伺候

指令(電報)(明治十八年九月廿五日)

八月廿八日伺小學教員申請方伺ノ通

○鹿兒島縣ヨリ授業料徴収ノ儀ニ付伺(明

治十八年九月十九日)

御省本年八月第八號達自今町村立學校ニ

於テハ授業料云々トアリテ教場ノ文字之

ナク右ハ學校ト教場トハ其名稱各別異ノ

モノト被存候ニ付テハ教場之儀ハ無論該

達之限ニアラサル儀ト心得可然哉

指令(電報)(明治十八年十月三日)

九月十九日付授業料之件ハ伺之通

○函館縣ヨリ私立諸學校教員免許ノ儀ニ

付伺(明治十八年九月廿六日)

本年八月第二十三號布告改正教育令第二

十五條ニ據レハ私立諸學校ノ教員モ免許

狀ヲ所持セサル者ハ教員タルヲ得サル儀

ト被存候就テハ右手續等御省ヨリ何分ノ

儀御達相成候儀ト存候得共現今新ニ該教員出願ノ者モ有之處分方差支候條何分ノ儀御達有之候迄從來ノ者ト同様許可致置候テ可然哉

指令(電報)(明治十八年十月六日)

九月廿六日伺私立諸學校教員免許ノ件ハ伺之通

○京都府ヨリ町村ノ學事引繼方ニ付伺(明治十八年八月三十一日)

一今般教育令御改正ニ付從前學務委員ニ於テ取扱候事務ハ戶長へ引繼へキ筋ニ候處戶長數人ノ所轄ニ涉ル區域ノ學事ニシテ從來其會議ヲ郡區長ニ於テ管理シ戶長ヲシテ施行セシメサルモノハ郡區長ニ爲引繼候テ可然哉
一前段郡區長へ引繼候上ハ自今改正教育令第十四條第廿九條ニ係ル事務ノ如キモ郡區長ニ於テ取扱不苦候哉

指令(電報)(明治十八年十月八日)

八月三十一日付伺第一項學務委員ノ事務
ハ區町村會法第十五條ニ據リ郡區長ニテ
管理セル筈ナレハ此條改メテ引繼カシム
ルノ限ニアラス第二項伺之通

○岡山縣ヨリ教育令疑團之件伺(明治十八
年九月八日)

一 本年八月教育令御改正學務委員被廢候
ニ付テハ學區内之諸務ハ專ラ戶長ヲシ

テ幹理セシムヘキ之處爰ニ一學區内數
名之戶長アリテ其所轄亦數箇ニ相分レ
候處學事ノ如キハ細大之事務總テ全學
區ニ涉リ措辨セサルヲ得サル場合有之
候條右戶長ハ學事ニ關シテハ全學區一
團樂ヲ以テ事務爲取扱可然哉

一 教育令第三條ニ小學教場之文字ヲ被掲
候右教場ハ小學校ト本文之關係ヲ有シ
兒童ノ通學不便ニシテ且ツ小學校ヲ設

置スルノ資力ニ乏敷數箇所ニ開設スヘキ者ニ候哉

一教育令第二十五條教員ノ年齡學力等之儀ハ私立學校(小學校ヲ除ク)ニモ關スル儀ト相認可然哉果シテ然レハ私立學校教員免許狀授與規則ヲ製シ可相伺哉
指令

書面伺之通

第一項 別ニ可及指令候事(指令左ニ掲ク)

第二項 伺之通

但小學教場ト小學校トハ本支ノ關係ヲ有スルモノニ無之候事

第三項 前段公私立學校一般ニ關スル

儀ト可心得後段免許狀授與方之儀ハ當省ヨリ可相達候事(明治十八年十月三日)

九月八日教育令ニ關スル伺第一項ハ區町村會法第十五條但書ノ場合ニ於テハ伺之

通(電報)(明治十八年十月十日)

[Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side]

明治十八年十月廿七日御届
同 年十一月 出板

(定價八錢)

岐阜縣平民

長 瀬 寛 二

纂者兼出板人

同縣美濃國各務郡
前渡村四番地

